1. 化学物質等及び会社情報

製　品　名 ： トーヨー土木用Gシート　G110
会　　　社 ： 東洋ゴム化工品販売株式会社
住　　　所 ： 東京都新宿区天神町10番地
担 当 部 門 ： 防水資材販売部
電 話 番 号 ： 03-3235-1713　ﾌｧｯｸｽ番号　03-3235-1500

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性

火薬類:	分類対象外
可燃性・引火性ガス:	分類対象外
可燃性・引火性エアゾール:	分類対象外
支燃性・酸化性ガス:	分類対象外
高圧ガス:	分類対象外
引火性液体:	分類対象外
可燃性固体:	区分外
自己反応性化学品:	分類対象外
自然発火性液体:	分類対象外
自然発火性固体:	区分外
自己発熱性化学品:	分類できない
水反応可燃性化学品:	分類対象外
酸化性液体:	分類対象外
酸化性固体:	分類対象外
有機過酸化物:	分類対象外
金属腐食性物質:	分類できない

健康に対する有害性

急性毒性(経口):	区分5
急性毒性(経皮):	区分外
急性毒性(吸入:ガス):	分類対象外
急性毒性(吸入:蒸気):	分類対象外
急性毒性(吸入:粉じん、ミスト):	分類できない(粉じん)
急性毒性(吸入:粉じん、ミスト):	分類できない(ミスト)
皮膚腐食性・刺激性:	区分外
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性:	区分外
呼吸器感作性:	分類できない
皮膚感作性:	区分外
生殖細胞変異原性:	区分2
発がん性:	区分2
生殖毒性:	区分外
特定標的臓器・全身毒性 (単回ばく露):	区分1 (呼吸器、全身)
特定標的臓器・全身毒性 (反復ばく露):	区分1 (肺、神経系、心血管系)
吸引性呼吸器有害性:	区分外

環境に対する有害性

水生環境急性有害性:	区分外
水生環境慢性有害性:	区分外

GHSラベル要素

注意喚起語
危険
危険有害性情報：
飲み込むと有害のおそれ
遺伝性疾患のおそれの疑い
発がんのおそれの疑い
呼吸器、全身の障害
長期又は反復ばく露による肺、神経系、心血管系の障害
注意書き：
≪安全対策≫
すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
使用前に取扱説明書を入手すること。
この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
保護手袋、保護眼鏡、保護面を着用すること。
ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。
取扱い後はよく手を洗うこと。
≪救急処置≫
気分が悪い場合：
医師の診断、手当てを受けること。
飲み込んだ場合：
直ちに医師に連絡すること。口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
吸入した場合：
空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。医師の手当て、診断を受けること。
眼に入った場合：
水で数分間、注意深く洗うこと。コンタクトレンズを容易に外せる場合には外して洗うこと。直ちに医師に連絡すること。
皮膚（又は毛髪）に付着した場合：
直ちにすべての汚染された衣服を脱ぐこと、取り除くこと。多量の水と石鹸で洗うこと。皮膚刺激または発疹が生じた場合、医師の手当てを受けること。
ばく露又はその懸念がある場合：
医師の診断、手当てを受けること。
≪保管≫
直射日光を避け、火気、熱源から遠ざけて、施錠して保管すること。
≪廃棄≫
内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

---

3. 組成・成分情報

単一物質・混合物の区別：
混合物

化学名:

ブチルゴム系テープ

成分	含有量(%)	官報公示整理番号	CAS No.
ブチルゴム等	70 ～ 80	記載できない	
カーボンブラック	10 ～ 20	対象外	1333-86-4
鉱油	～ 10	記載できない	記載できない
二酸化マンガン	2	(1)-475	1313-13-9
酸化亜鉛	～ 2	(1)-561	1314-13-2

4. 応急処置

吸入した場合:

被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
医師の手当て、診断を受けること。
気分が悪い場合は、医師の手当て、診断を受けること。

皮膚に付着した場合:

汚染された衣服を脱ぐこと。
皮膚を速やかに洗浄すること。
多量の水と石鹸で洗うこと。
医師の診断、手当てを受けること。
皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。
気分が悪い場合は、医師の手当て、診断を受けること。
汚染された衣服を再使用する前に洗濯すること。

目に入った場合:

水で数分間、注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
医師の診断、手当てを受けること。
眼の刺激が継続する場合は、医師の診断、手当てを受けること。
気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。

飲み込んだ場合:

口をすすぐこと。
医師の診断、手当てを受けること。
気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。

予測される急性症状及び遅発性症状

特になし

5. 火災時の措置

消火剤:

注水、粉末消火剤、粉末炭酸ガス消火器、泡消火器、防火砂等。

特有の危険有害性:

熱分解、不完全燃焼により黒煙、一酸化炭素が発生し、これらの吸入により危険を生じるおそれがある。

特有の消火方法:

注水、水噴霧、各種消火剤等を使用して風上から消火する。

消火を行う者の保護:

有害ガス用防毒マスク、ゴーグル、ゴム製保護手袋等の保護具を着用して下さい。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置:

漏出時の処置を行う際には、必ずゴム製またはビニール製保護手袋、保護眼鏡またはゴーグルを着用する。

皮膚に付着したり、眼に入った場合は「4. 応急処置」に記載の方法により処置する。

環境に対する注意事項:

下水及び公共水域に流失しないようにする。

除去方法:

漏出、飛散した場合には、掃き集め、適当な容器に回収する。

回収物は、「13. 廃棄上の注意」に従い、廃棄する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策:

「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。

安全取扱い注意事項:

使用前に取扱説明書を入手すること。
すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
接触、吸入又は飲み込まないこと。
眼に入れないこと。
取扱い後はよく手を洗うこと。
屋外又は換気の良い区域でのみ使用すること。
この製品を使用する時に、飲食又は喫煙しないこと。

保管

技術的対策:

保管場所は耐火構造とし、屋根を不燃材料で作り、天井を設けない。
保管場所の床は、床面に水が浸入、浸透しない構造とする。
保管場所には、必要な採光、照明及び換気の設備を設ける。

保管条件:

直射日光を避け、換気の良い所に保管する。
防湿に注意する。
屋内貯蔵を原則とする。

混蝕危険物質:

水と接触のおそれがない場所に貯蔵すること。

容器包装材料:

ダンボールケース等。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度、許容濃度（ばく露限界値、生物学的ばく露指導）

成分	管理濃度	許容濃度			
		日本産業衛生学会(2009)		ACGIH(TLV)(2010)・TWA	
カーボンブラック	規定なし	－	－		$3.5mg/m^3$
鉱油	規定なし	鉱油ミスト	$3mg/m^3$	鉱油ミスト	$5mg/m^3$
二酸化マンガン	$0.2mg/m^3$	－	$0.3mg/m^3$		$0.2mg/m^3$
酸化亜鉛	規定なし	－	－		$2mg/m^3$

設備対策:

室内で取り扱う場合は管理濃度以下にするために十分な能力を有する換気装置を備える。

保護具

呼吸器の保護具: 適切な呼吸器保護具を着用すること。
手の保護具: 適切な保護手袋を着用すること。
眼の保護具: 適切な眼の保護具を着用すること。
保護眼鏡(普通眼鏡型、側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型)
皮膚及び身体の保護具: 適切な顔面用保護具を着用すること。

衛生対策:

取扱い後はよく手を洗うこと。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状態、形状、色など: 黒色固体
臭い: 微臭あり
pH: 該当しない
融点/凝固点: データなし
沸点: 該当しない
引火点: 該当しない
爆発範囲: 該当しない
蒸気圧: 該当しない
蒸気密度: 該当しない
比重: 1.10(20℃)
溶解度: 水に難溶
オクタノール/水分配係数: データなし
自然発火温度: 該当しない
分解温度: 250℃
臭いのしきい(閾)値: データなし
蒸発速度: データなし
燃焼性(固体、ガス) データなし
粘度: データなし

10. 安定性及び反応性

安定性:
通常の取扱い条件下では安定である。
危険有害反応可能性:
該当しない
避けるべき条件:
高温、高湿、直射日光
混触危険物質:
知見なし
危険有害な分解生成物:
知見なし

11. 有害性情報

急性毒性:
急性毒性(経口)の物質を含む。これより、混合物の急性毒性(経口)推定値ATEmix＝3,800mg/kg が算出される。(GHS判断基準による)
混合物として急性毒性(経口)区分5に分類される。
急性毒性(経皮)の物質を含む。これより、混合物の急性毒性(経皮)推定値ATEmix＝＞5,000mg/kg が算出される。(GHS判断基準による)
混合物として急性毒性(経皮)区分外に分類される。

皮膚腐食性・刺激性:
混合物として区分外に分類される。
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性:
混合物として区分外に分類される。
呼吸器感作性:
分類できない
皮膚感作性:
混合物として区分外に分類される。
生殖細胞変異原性:
混合物として区分2（遺伝性疾患のおそれの疑い）に分類される。
発がん性:
混合物として区分2（発がんのおそれの疑い）に分類される。
生殖毒性:
混合物として区分外に分類される。
特定標的臓器・全身毒性（単回ばく露）
混合物として区分1（呼吸器、全身）に区分され、有害性情報は、臓器（呼吸器）及び全身の障害となる。
特定標的臓器・全身毒性（反復ばく露）
混合物として区分1（肺、神経系、心血管系）に区分され、有害性情報は、長期又は反復ばく露による臓器（肺、神経系、心血管系）の障害となる。
吸引性呼吸器有害性:
混合物として区分外に分類される。

12. 環境影響情報

生態毒性
水生環境急性有害性:
混合物として区分外に分類される。（GHS判断基準による）
水生環境慢性有害性:
混合物として区分外に分類される。（GHS判断基準による）
残留性・分解性:
混合物としてのデータがない。
生体蓄積性:
混合物としてのデータがない。
土壌中の移動性:
混合物としてのデータがない。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物:
廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。
都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理をする。
廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の上処理を委託する。
汚染容器及び包装:
容器は清潔にしてリサイクルするか、関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。
空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

国際規則
国連番号: 非該当
国連分類: 非該当

容器等級:　非該当
海洋汚染物質:　非該当
特別の安全対策:
運搬容器が落下し、転倒もしくは破損しないように積載すること。
輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。
食品や飼料と一緒に輸送してはならない。
重量物を上積みしない。

15. 適用法令

労働安全衛生法:
名称を通知すべき有害物
（法第57条の2、施行令第18条の2別表第9）
カーボンブラック:　政令番号　第130号
鉱油:　政令番号　第168号
二酸化マンガン:　政令番号　第550号
酸化亜鉛:　政令番号　第188号
化学物質排出把握管理促進法（PRTR法）:
二酸化マンガン:　第1種指定化学物質
（法第2条第2項、施行令第1条別表第1）（政令番号　第412号）

16. その他の情報

参考文献

1）GHS対応による混合物（化学物質）のMSDS作成手法の研修テキスト
2）製品安全データシートの作成指針
3）材料メーカーの製品安全データシート

○本文中の記載内容は、当社の最善の知見に基づいて作成しておりますが、情報の正確さ、安全性を保証するものではありません。
○すべての化学品には未知の有害性があり得る為、取扱いには細心の注意が必要です。
御使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定くださる様御願い申し上げます。